

第3章 心豊かな人を育むまち

第1節 子どもの教育

1 幼児教育

<現状と課題>

- ◆本町には2つの私立幼稚園があり、幼児教育が行われています。
- ◆幼児期（3歳～5歳）の教育は、人間形成の基礎を培う大切な時期であり、保育ニーズの多様化に応じた保育園との連携はもとより、小学校との連携、協力の強化をはかる必要があります。
- ◆親として、家庭教育の重要性を認識し、家庭において子どもをよりよく育てるための知識・能力を身につける学習の場と機会が必要です。

<めざす方向>

- ◆幼児期における家庭の教育力向上のため、学習機会の提供に努めます。
- ◆就園を希望する全ての幼児が適切な教育を受けられるよう、幼稚園整備の側面的協力を努めます。

施策	施策の主な内容
(1) 幼児を対象とした子育て支援	①幼児教育に関する相談や学習機会の充実に努めます。 ②子育てサークル活動など、親子の交流促進を支援します。
(2) 幼稚園教育の促進	①私立幼稚園と公立保育園の連携、小学校との連携などを強化します。 ②保護者のニーズに応じて、受け入れ体制の充実に要請します。 ③就園を希望する幼児が適切な教育を受けられるよう、幼稚園の整備について側面的に協力します。 ④保護者の経済的負担を軽減するため、就園奨励金の助成に努めます。

<目標指標>

(1) 幼児を対象とした子育て支援

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
幼児教育に関する学習機会	幼児家庭教育学級の開催数(年間)	10回	H21	10回	H26	10回	H32

(2) 幼稚園教育の促進

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
幼稚園数	町内にある私立幼稚園の数	2園	H21	2園	H26	2園	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第1節 子どもの教育

2 義務教育

<現状と課題>

- ◆本町には、小学校が1413校、中学校が5校あります。
- ◆子どもたちの「生きる力」を育てるため、教育機能を十分に発揮し、地域に根ざした教育に取り組んでいます。信頼される学校づくりが求められており、学習指導要領に基づく確かな教育課程の展開をはじめ、学校運営に関わる情報を積極的に提供するなど、保護者や地域に開かれた学校運営を推進していく必要があります。
- ◆施設については、校舎の改築や屋外運動場、プールなどの計画的な整備が必要です。

<めざす方向>

- ◆確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむため、学校経営を支援する体制を整えるとともに、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学の連携を促進します。

施策	施策の主な内容
(1) 教育環境の整備	<p>①施設の老朽化や耐震性、児童生徒数の動向などに応じて、学校教育施設を計画的に改修、整備します。</p> <p>②環境にやさしい設備を整えたエコスクールの整備を進めます。</p> <p>③自校給食施設などについては、ドライフロア方式への整備を計画的に進めます。</p> <p>④②学校図書、パソコンなど教育に必要な環境整備に努めます。</p> <p>⑤③スクールバス運行、遠距離通学費への助成を継続します。</p> <p>⑥④教職員住宅の老朽化に伴う改修、整備を計画的に進め、居住環境の改善に努めます。</p>
(2) 義務教育内容の充実	<p>①確かな学力をはぐくむため、学習指導要領に基づき、個に応じたきめ細かな指導を展開します。</p> <p>②一人ひとりの良さを伸ばす教育、創意工夫を生かした特色ある教育の実践を支援します。</p> <p>③豊かな心をはぐくむため、道徳の授業を要とした道徳教育の充実をはかります。</p> <p>④時代の変化に対応した教育を行うため、環境やエネルギー問題、国際化、情報化などに対応した教育を進めます。</p> <p>⑤健やかな体をはぐくむため、食育[*]の観点から学校給食の充実に努めます。</p> <p>⑥いじめ、不登校、暴力行為などを解決するため、相談体制を充実させます。</p> <p>⑦保護者や地域に開かれた学校運営をめざし、「学校評議員制度[*]」の運営に努めます。</p> <p>⑧教職員の資質・能力向上に資する研修事業を支援します。</p> <p>⑨必要に応じて、学校教材備品を整備します。</p> <p>⑩保護者の経済的負担を軽減するため、就学援助費の助成に努めます。</p> <p>[*]食育：健全な食生活、食文化の継承などを目的に、自らの食について考える習慣や食に関する知識、食を選択する力などを身に付けるために行う教育のことです。 [*]学校評議員制度：保護者や地域住民の代表が学校評議員となり、学校の教育運営</p>

	について意見を述べる制度です。
(3) 特別支援教育の充実	<p>①特別支援学級、通級指導学級における自立支援を充実させる児童生徒一人ひとりの実態に応じた教育を行うため、個別の指導計画、個別の教育支援計画を整備作成します。</p> <p>②障がいのある児童生徒が自立して社会参加生活できるよう、適正な指導を進めます適正な教育を行います。</p> <p>③教育機器、訓練機器の整備、充実をはかります。</p>

<目標指標>

(1) 教育環境の整備

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「小・中学校の教育環境」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	80.0%	H20	82.0% 82.9%	H27 H26	83.0%	H32

(2) 義務教育内容の充実

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「小・中学校の教育環境」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	80.0%	H20	82.0% 82.9%	H27 H26	83.0%	H32

(3) 特別支援教育の充実

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「障害のある児童などの教育環境」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	80.6%	H20	82.6% 82.6%	H27 H26	83.0%	H32

学校図書の整備	学校図書館図書標準冊数に対する進捗率	80.0%	H21	90.0%	H26	100.0%	H32
小学校児童用コンピュータの整備	小学校における児童用コンピュータの整備台数	4人に1台～ 2人に1台	H21	2人に1台	H26	1人に1台	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第1節 子どもの教育

3 高校教育、高等教育

<現状と課題>

- ◆本町には、道立音更高等学校と私立の帯広大谷短期大学があります。
- ◆道立音更高等学校は、全日制普通科と定時制農業科があり、平成11年に校舎の改築および農業教育施設の整備が行われ、生涯学習の推進など地域社会と連携した教育活動が展開されています。
平成27年より昼間定時制農業科の募集を停止し、普通科単位制へ移行しており、町内の高校進学者の希望を満たすため、現状の間口維持を引き続き要請していくことが必要です。
- ◆帯広大谷短期大学は、平成11年より男女共学となり、また、地域文化振興の担い手として地域社会と連携した生涯学習の推進などに取り組んでいます。平成22年には本町と包括連携協定を締結し、まちづくりにおけるパートナーとして、各種計画の策定や調査事業などを協働で実施しています。さらに、地域の高等教育機関として町内・地域・地域外の自治体や各種団体、教育機関との連携を深めるなど、さまざまな取り組みを開始しています。将来構想としての4年制大学化をめざす検討がされていましたが、~~については、~~現段階ではも具体的な進展がない状況にあります。~~が、~~長期的には重要な検討課題としています。今後も地域社会と連携した地域文化振興をはじめ、食分野における6次産業化や人づくりを通じた地域活性化の担い手として、さらには国際化や高齢社会に対応した指導的役割を担う拠点としての充実が求められています。
- ◆少子化に伴う学生数の減少は、高等教育機関の運営などに影響を与えることが懸念されています。高等教育機関は、教育、研究を通じて、人材の育成、学習機会の提供、地域産業の振興など、地域の知的拠点として大きな役割を果たすことが期待されており、産学官の推進はもとより地域文化の振興をはかるためにも整備、拡充が必要です。

<めざす方向>

- ◆高校教育については、地域に根ざした高等学校づくりを進めるように支援します。
- ◆高等教育については、地域の知的拠点となるよう、地域社会との連携と交流をさらに深めます。

施策	施策の主な内容
(1) 高校教育の継続に向けた支援	①地域活力の向上のため、音更高等学校の間口維持、施設整備の充実などを要請します。 ②時代の変化に対応する音更高等学校農業科の充実と継続を要請します。 ②③経済的に恵まれない高校生の就学を支援するため、町の奨学金制度を継続します。
(2) 高校教育、高等教育の充実	①地域に開かれた高校や大学をめざし、町民を対象とした各種開放講座等の開催などを協働で進めます。 ②高等教育の充実をめざし、帯広畜産大学、帯広大谷短期大学、北海道立農業大学の施設や機能などの整備、充実を関係機関に要請します。

<目標指標>

(1) 高校教育の継続に向けた支援

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
音更町奨学資金給付人数	高校生の就学を支援するための町の奨学資金給付人数	90人	H21	86人	H26	110人	H32

(2) 高校教育、高等教育の充実

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
生涯学習講座の開催数	OOJCオープンカレッジ、高校開放講座などの開催数(年間)	135回	H21	164回	H26	170回	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第1節 子どもの教育

4 青少年健全育成

<現状と課題>

- ◆青少年を取り巻く環境が大きく変化するなか、本町は、家庭、学校、地域が連携しながら、体験学習、社会参加活動、子ども会をはじめとする少年団体活動などを通じて、青少年の健全育成に取り組んでいます。
- ◆青少年を取り巻く現在の社会・生活環境は、必ずしも恵まれたものとは言えず、物質的な豊かさや生活面での便利さが増した反面、人間関係が希薄化し、非行への誘惑など青少年の健全育成に好ましくない状況もあります。
- ◆青少年を心身ともに健やかに育むためには、近年、社会的な問題となっている家庭や地域の教育力の低下に対応することが重要であり、家庭、学校、地域との連携を強化しながらそれぞれが特色を發揮し、協働によるより良い環境づくりを進める必要があります。

<めざす方向>

- ◆自主、自立の気概にあふれ、規範意識が高く、豊かな思いやりの心と夢を持った青少年を育てるために、家庭、学校、地域との連携を深めながら、地域ぐるみで青少年の健全育成に努めます。

施 策	施 策 の 主 な 内 容
(1) 青少年育成の推進体制、環境づくり	<ul style="list-style-type: none">①地域ぐるみでの青少年の健全育成をめざし、広報活動を通じて町民の積極的な協力を促進します。②家庭教育に関する意識啓発や情報提供に努め、相談体制を充実させます。③家庭、学校、地域との連携を深め、地域の青少年育成組織の充実をはかります。④有害図書・広告の追放など社会環境の浄化に努めます。⑤青少年の非行を防止するため、通報・相談体制の充実をはかります。⑥青少年等の集団研修施設など、関連施設の計画的な改修を進めます。
(2) 青少年の社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none">①体験学習への参加を促進します。②親子で参加できる活動として、ボランティア活動や地域清掃活動などへの積極的な参加を進めます。③青少年が活動する団体や組織を支援するとともに、少子化に対応した組織の編成を検討します。

<目標指標>

(1) 青少年育成の推進体制、環境づくり

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「青少年の健全育成」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	83.6%	H20	85.0% 84.4%	H27 H26	85.0%	H32

(2) 青少年の社会参加の促進

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
青少年教育事業の参加者数	青少年教育事業の参加者数(年間)	695人	H21	750人 699人	H26	750人	H32
不審者の通報件数	青少年に対する不審者に関する通報件数(年間)	19件	H21	17件 11件	H26	15件 10件	H32
青少年相談件数	青少年の家庭生活における相談件数(年間)	2件	H21	5件 2件	H26	7件	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第2節 生涯学習

1 生涯学習の体制づくり

<現状と課題>

- ◆本町は、町民が生涯を通して自由に学習機会を選択し、学び、その成果が適正に評価される環境をつくるため、社会教育を中心に他の分野も含めて、生涯学習に関連する情報提供や学習機会の提供、町民の主体的な活動の支援などを行っています。また、生涯学習の場として利用している施設の利便性の向上や指導者の発掘、養成などに努めています。
- ◆今後さらに生涯学習社会づくりを進めていくには、町民と町の連携・協力体制をより一層深め、「生涯学習によるまちづくり」を総合的に進めていくことが課題となっています。関係機関との連携を深め、多様化する町民の生涯学習に対するニーズの把握に努めながら、地域の特性を活かした生涯学習社会の環境整備を進めていくことが必要です。

<めざす方向>

- ◆各関係機関・団体との連携により学習環境の整備に努めるとともに、町民協働の「生涯学習によるまちづくり」を進め、町民が生涯にわたり、いつでも、どこでも、誰でも自由に学習機会を選択し学び、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会の実現をめざします。

施策	施策の主な内容
(1) 推進体制、人材の確保	<ul style="list-style-type: none">①庁内各課や関連団体、町民の参加による生涯学習推進体制を充実させます。②リーダーバンク制度※などを充実し、登録者の活用、拡大をはかります。③専門的知識を持つ人材を発掘し、生涯学習の指導・サポート体制を充実させます。④生涯学習ボランティアの養成に努めます。⑤より多様なテーマで学べるよう、民間の社会教育事業と連携し、学習機会の提供に努めます。 <p>※リーダーバンク制度：芸術・一般教養・スポーツ・レクリエーションなど生涯学習活動の指導者等を登録し、団体・サークルなどの求めに応じて紹介する制度のことです。</p>
(2) 情報の提供、相談の充実	<ul style="list-style-type: none">①生涯学習に関わる学習情報を広く周知し、学習機会の提供に努めます。②生涯学習への理解や参加を促進するため、相談体制の充実をはかります。③関係機関との連携を深め、共有する情報の活用に努めます。
(3) 施設の活用、連携	<ul style="list-style-type: none">①生涯学習の活動拠点として、生涯学習のセンター機能の整備、充実に努めます。②生涯学習関連施設以外の施設も、生涯学習の場として有効活用します。

<目標指標>

(1) 推進体制、人材の確保

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「生涯学習の情報や機会の提供」に対する町民の満足度	平成20年まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	84.4%	H20	86.0% 85.3%	H27 H26	87.0%	H32
リーダーバンクの登録者数	指導者のリーダーバンクへの登録者数(累計)	78件	H21	90件 82件	H26	100件	H32
学校支援ボランティアの活動参加者数	学校支援ボランティアの活動参加者の年間延べ人数(年間)	1,793人	H21	1,850人	H26	1,900人	H32

※事業廃止につき削除(特別支援教育ボランティア介助員は、訪問介護事業所への委託事業となったため廃止されている。)

(2) 情報の提供、相談の充実

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
生涯学習講座の参加者数	OOJCオープンカレッジ※、高校開放講座などの参加者数(年間) ※OOJCオープンカレッジ:音更町と帯広大谷短期大学の共催による生涯学習プログラムです。	1,895人	H21	1,900人 1,598人	H26	1,900人	H32
生涯学習フェスティバルの参加者数	生涯学習フェスティバルの参加者数	3,480人	H21	3,500人 2,450人	H26	3,600人 2,800人	H32

(3) 施設の活用、連携

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
公民館の利用者数	公民館の年間利用者数(年間)	7,026人	H21	7,300人 5,932人	H26	7,500人	H32
集団研修施設の利用者数	集団研修施設の年間利用者数(年間)	6,987人	H21	7,636人	H26	8,000人	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第2節 生涯学習

2 社会教育

<現状と課題>

- ◆本町は、「社会教育中期計画」に基づき、各世代で求められている学習ニーズに応える学習機会の提供、活動の支援に努めています。また、広報活動や関係機関・団体などへの資料配布による情報提供に努めるとともに、生涯学習リーダーバンクの活用、職員の各種研修会への派遣、各種団体指導者の研修参加の奨励などにより、指導体制の資質向上に努めています。
- ◆今後も、生涯学習社会の観点から、有志指導者を含めた指導体制や教育内容を充実させるとともに、学習情報の提供、相談体制の整備、既存施設の機能充実などを進めていくことが必要です。

<めざす方向>

- ◆生涯学習の観点から、地域に根ざした社会教育を計画的に進めるため、学習ニーズをふまえながら推進体制や関連施設を充実させるとともに、町民の社会教育活動を促進します。

施 策	施 策 の 主 な 内 容
(1) 学習機会の拡充、活動の支援	①青少年のたくましい精神と身体の育成をはかるため、子どもの居場所づくり、主体的な学習や活動を支援します。 ②成人の生きがいづくり、心の豊かさや充実感を求める学習ニーズなどに対応するため、成人教育に関する学習活動を促進します。 ③青少年の健全育成や親の教育を充実させるため、家庭教育に関する学習活動を促進します。 ④高齢者をはじめ町民が地域社会に貢献する場を増やすため、世代間交流や社会参加活動を促進します。 ⑤町民の学習ニーズをふまえながら、充実した学習機会を設定します。 ⑥町内の各団体やサークルへの参加を促すとともに、自主的な活動を支援します。
(2) 図書館の充実	①学習情報を適切に提供できるように整備を進めるとともに、学習相談体制の充実をはかります。 ②図書館活動の拡充に積極的に取り組み、蔵書の整備を計画的に進めます。

<目標指標>

(1) 学習機会の拡充、活動の支援

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
郷土資料室の利用者数	郷土資料室の年間利用者数(年間)	450人	H21	600人 385人	H26	700人	H32
社会教育事業の参加者数	幼児家庭教育学級、高齢者学級、公民館講座などの参加者数(年間)	946人	H21	1,000人 697人	H26	1,200人 1,000人	H32

(2) 図書館の充実【生涯学習課】

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
図書館利用者数	一年間の図書の貸出延べ人数(年間)	65,212人	H21	66,500人 56,513人	H26	68,000人 60,000人	H32
年間一人当たり貸出冊数	一年間の住民一人当たり貸出冊数(年間)	6.4冊	H21	6.6冊 5.9冊	H26	6.8冊 6.2冊	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第2節 生涯学習

3 スポーツ

<現状と課題>

- ◆本町は、生涯スポーツの観点から、誰もが気軽にスポーツに参加できる機会を拡充し、心身ともに健康で充実した生活を営むため、野球場、総合体育館、温水プール、パークゴルフ場などスポーツ施設の整備、充実と、子どもから高齢者までを対象とした各種スポーツ活動の推進に取り組んでいます。
- ◆スポーツ活動への参加意欲が高まるにつれ、活動施設や活動内容へのニーズも、多様化、高度化しており、これらに対応したスポーツ活動の機会の充実や施設を有効に使うための環境整備が必要です。
- ◆本町にあるスポーツ施設のうち、温水プール、総合体育館、武道館については、指定管理者制度による民間委託で施設運営を行っています。
- ◆スポーツ施設の整備については、~~「社会体育施設整備計画」~~を見直し「**スポーツ施設整備計画**」に沿って、計画的に整備を進めていくことが必要です。

<めざす方向>

- ◆気軽に参加できるスポーツ活動機会の拡充とスポーツ環境の充実、指導者の育成に努め、町民の健康づくりを進めます。

施策	施策の主な内容
(1) スポーツ活動の促進	①スポーツによる個々の年代、体力に沿った健康づくりをめざし、スポーツ活動の普及に努めます。 ②各種大会に参加する際に、必要な支援を行います。 ③スポーツ活動を促進するため、情報の収集、提供と指導体制の充実に努めます。 ④気軽に楽しめるスポーツを取り入れ、普及させます。 ⑤スポーツ活動の推進体制をより一層充実させるため、体育協会との連携を深め事業を進めます。
(2) 利用しやすいスポーツ活動の場づくり	①スポーツ施設の整備、維持管理を計画的に進めます。 ②スポーツ関連施設以外でも、スポーツ活動に利用できる施設については、有効活用をはかります。

<目標指標>

(1)スポーツ活動の促進

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「スポーツ活動の推進」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	85.5%	H20	87.0% 84.1%	H27 H26	88.0% 87.0%	H32
スポーツ教室・大会の参加者数	各種スポーツ教室、大会の参加者数(年間)	40,096人	H21	40,500人 47,515人	H26 H25	40,900人 47,515人	H32

(2)利用しやすいスポーツ活動の場づくり

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「スポーツ施設の充実」に対する町民の満足度	平成20年まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	81.1%	H20	83.0% 80.5%	H27	84.0% 83.0%	H32
スポーツ活動利用者数	スポーツ活動の施設年間利用者数(年間)	295,390人	H21	298,000人 282,865人	H25	300,000人 298,000人	H32

第3章 心豊かな人を育むまち

第2節 生涯学習

4 芸術、文化

<現状と課題>

- ◆本町は、優れた芸術文化を鑑賞する機会や、芸術文化活動に参加する機会などを充実させるため、関係団体との連携のもと、地域に根ざしたさまざまな事業を展開しています。今後も、多様化する町民ニーズに対応し、芸術文化を鑑賞する機会などを提供していくことが必要です。
- ◆文化協会や文化事業協会など文化団体との連携を深め、町民の文化活動の発表の場づくりなどを行うとともに、文化団体の育成や活動の充実に努めています。今後も、町民が自主的に文化活動に参加しやすい環境を整備し、参加意欲を高めていくとともに、優れた指導者の確保や活動の場となる施設の充実により、活動を促進していくことが必要です。
- ◆「十勝駒踊」「東土狩獅子舞」「矢部獅子舞」の3件の郷土芸能と、構造士である「十勝坊主」を町指定文化財として指定し、保存や伝承に努めています。今後も、これらの保存、活用をはかるとともに、郷土芸能保存団体などの後継者を育成、支援し、豊かな郷土愛を育てていくことが必要です。

<めざす方向>

- ◆個性豊かで新しい地域文化を創造し、町民が主体的に文化活動に関わることができる環境づくりや、その活動支援に努めます。
- ◆文化財や郷土芸能を保護し、保存団体の育成をはかるとともに、文化財などに親しむ機会を提供し、保存、伝承に努めます。

施策	施策の主な内容
(1) 芸術文化活動の促進	①町民に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供します。 ②芸術文化の普及と文化事業や活動内容の充実に努めます。 ③芸術文化活動団体やサークルの活動を支援し、人材の育成に努めます。 ④芸術文化大会に参加する際に、必要な支援を行います。
(2) 文化活動の場の充実 文化センターの施設整備・利用促進	①文化センターの施設整備、維持管理に努めます。 ①文化センターの施設整備や維持管理を適切に行い、利用者サービスの向上と利用促進をはかります。
(3) 文化財などの保護、活用	①町指定文化財などの保護保存に努めるとともに、その積極的な活用をはかります。 ②収集した資料を整理保存し、展示などを通じて活用します。 ③郷土芸能を継承し、後世に伝えていくため、保存団体の育成、支援に努めます。

<目標指標>

(1) 芸術文化活動の促進

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「芸術文化活動の促進」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	86.4%	H20	87.0% 85.2%	H27 H26	87.0%	H32
文化・芸術事業の参加者数	芸術鑑賞や文化祭などの参加人数(年間)	15,816人	H17~ H21 (平均)	15,900人 14,210人	H26	16,000人	H32

(2) 文化センターの施設整備・利用促進

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「芸術文化施設の充実」に対する町民の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	86.0%	H20	87.0% 84.7%	H27 H26	87.0%	H32
文化センター利用者数	文化センターの年間延べ利用者数(年間)	85,974人	H21	86,800人 70,044人	H26	87,600人 80,000人	H32

(3) 文化財などの保護、活用

目標指標名	説明	当初数値	年度	中間数値	年度	目標数値	年度
「教育・スポーツ・文化・国際交流などについて」の「文化財や史跡の伝承保存」に対する町民の満足度	平成20年まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	84.8%	H20	84.8% 85.2%	H27 H26	84.8%	H32